

ポリバケツでらくらくコンポスト

大型の埋め込み式のコンポストは、設置する時の穴掘りや使用中の攪拌作業が大変ですが、小型のポリバケツなら楽に穴が掘れます。設置場所も数カ所に分散することができます。生ごみ投入後も移植ゴテなどで、こまめに楽々と攪拌できます。3個を交代に使用することで、熟成期間を十分とることができ、また虫や悪臭が発生した時でも、別のバケツを使って堆肥づくりを続けることができます。



<用意するもの>

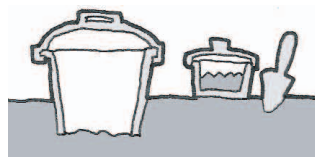
- ・ポリバケツ3個
(写真のものは40L。4人家族程度での使用向き。)
- ・乾いた土を入れておけるフタ付き容器
- ・乾いた土（植木鉢の古い土などで良い）
- ・移植ゴテ
- ・野菜クズを干す為のザル又はネット



生ごみ堆肥はNPKのバランスが良いのか、野菜がとても良く育ちます。写真は全て、プランターで栽培したもの。前年に使用した古い土に同量の生ゴミ堆肥を混ぜ込んで使用しました。

<設置方法>

1. 小型のフタ付きポリバケツを3個用意する。フタは風で飛ばない様に、キチンと閉まるタイプの物を使用
2. よく切れるのこぎりで底を切り取る
3. 設置場所に深さ20cmほどの穴を掘り、ポリバケツを設置する。（ポリバケツを隣接して並べる場合は、高さを揃える。）
4. ポリバケツのすぐそばに、乾いた土を入れておけるフタ付きの容器と、移植ゴテを常備する。



<生ごみ堆肥の作り方>

1. 乾いた生ごみをポリバケツ1に投入する。野菜クズは一日以上ザル等に入れて風通しの良い場所で干しておくとい。
2. ゴミに少量の乾いた土をふりかけ、かき混ぜてフタをきっちり閉めておく。
3. 1.と2.を繰り返す。内部がベタベタしてきたら、乾いた土を沢山まぜ込む。普通の畑の土程度の湿り気が良い。
4. バケツが70～80%程いっぱいになったら、表面に乾いた土をゴミが見えなくなるぐらいにかぶせ、半年以上ねかせてから掘り出し堆肥として使用する。途中で数回、底の方からかき混ぜると良い。
5. ポリバケツ2に生ごみを投入し、1～4を繰り返す。ポリバケツ2が一杯になったら、ポリバケツ3を使用する。

